



訓子府を食べよう



訓子府町クリーン農業推進協議会（得能宗一会長）のメンバーが11月13日、訓子府小学校を訪れ、5年生を対象に「食育」授業を行いました。「訓子府を食べよう」と銘打ったこの授業は、訓子府産の農産物を調理することで、児童に農業や食の大切さを教えるとともに、「地産地消」を目的に毎年行われ、今年で10年目になります。

児童39人が、7班に分かれ、協議会メンバー7人や民生委員9人、JAきたみらい関係者らが豚汁作りを指導しました。材料は、訓子府産のじゃがいも、玉ねぎ、みそ、米、北海道産のにんじん、長ねぎ、ごぼうなどを使用しました。

児童は、米とぎやじゃがいもの皮むきなど役割分担し、調理。出来上がった豚汁を食べた児童は「訓子府の野菜などで作った豚汁はおいしい」と笑顔満開でした。

訓小5年が料理に挑戦

子どもたちが舞台上で熱演

訓子府小学校の学芸会が11月1日、居武士小学校の学芸会が15日にそれぞれ行われました。劇や合唱、器楽演奏など、児童が練習の成果を存分に発揮し、訪れた父母などから大きな拍手を受けていました。

訓子府小学校



訓小と居小で学芸会

KAPPA（カップ）マスタース開催 約170人が記録に挑戦し力泳

第21回KAPPA（カップ）マスタース水泳大会が、11月1日に町温水プール「KAPPA」で開かれました。

訓子府町内をはじめ、近隣の北見市や網走市、遠く釧路市など道内各地から約170人が参加しました。

競技は、年齢別の個人種目のほか、男女、混合の自由形リレーなどの団体種目で行われました。各種目いづれも、参加者は水しぶきを上げながら力強く泳ぎ、自己の記録に挑戦しました。

また、プールサイドでは競技仲間などが大きな声援を送っていました。



まちの

講演テーマ

北海道の絶景

訓子府町四季観光フォトコンテストの審査員長を務める佐呂間町出身の写真家、岸本日出雄さんを講師に招き「訓子府町四季観光フォトコンテスト講演会」が11月12日に公民館で開催されました。

岸本さんは、広告や雑誌、カレンダーなどを中心にモデル、自然風景、航空撮影と幅広いジャンルで活躍されています。今回は、『北海道の絶景』と題して講演しました。

岸本さん自身が実際に撮影した各地の絶景写真を映しながら、「良い風景写真を撮るには、1週間に何日も通わないといけない、風景は夜明けがいい。夜が明けて30分が勝負である」と講演を楽しみに会場に訪れた方たちに話していました。

訓子府町四季観光フォトコンテスト講演会



わだいの



居武士小学校

元気よくがんばりました



幼稚園では発表会

訓子府幼稚園の「発表会」が11月14日に町公民館で開かれました。

劇や器楽さらに遊戯を子どもたちが元気良く披露しました。会場を訪れた父母やおじいちゃん、おばあちゃんを感心させたり、喜ばせたりしていました。